

No.728 July 2017

ASAHI MACHI



Ⓜ 広報 あさひまち

冷たくって、
おいしいね。

2017
7

No.728



10月21日(土) いよいよ開催!

3 ASARI TOWN with MIZUNO APPLE MEET MARATHON & WALKING

あさひまち アップルミートマラソン&ウォーキング

最大高低差 約333m

マラソン 10km

ウォーキング 8km

大会申込みについてはこちら

▶参加資格

①マラソン…高校生以上 ②ウォーキング…小学生以上

▶参加料

①マラソン…高校生：2,000円、一般：3,000円
②ウォーキング…小・中学生：1,000円、高校生：1,500円
一般：2,000円

▶申込締切 8月31日(木)

▶申込方法

①窓口申込
参加申込書(政策推進課に設置するほか、町ホームページからダウンロード可能。郵送も対応可)に参加料を添え、担当窓口へ持参してください。
※受付は平日8:30~17:15(土日祝日を除く)

②インターネット申込
ランネット (<http://runnet.jp/>) を通して必要情報を入力し、申し込んでください。
※会員登録(無料)が必要です。

▶問合せ・申込み先

朝日町マラソン&ウォーキング実行委員会事務局
(朝日町政策推進課内)
☎0237-67-2111
平日8:30~17:15(土日祝日を除く)
Mail: brand@town.asahi.yamagata.jp

10月21日(土)、町では「あさひまちアップルミートマラソン&ウォーキング」を開催します。人と人との「出会い」と「おもてなし」を大切に、町特産品の提供や各種デザインの一統など他に類のないマラソン大会として好評を得てきた「あさひまちミートマラソン」。3回目となる今回は新たにウォーキング部門を設け、小学生から高齢の方、運動が苦手な方まで幅広く参加できるようにしました。

Asahi自然観を発着点とするマラソン10キロ、ウォーキング8キロのダウンヒルクライム(下り・上り坂)コース。給水ポイントおよびゴールでは町特産のりんごが食べ放題になるなど、美味しく楽しいおもてなしも健在です。多くの皆さまからのエントリーをお待ちしております。また、大会当日は県内外から参加者が集まります。ぜひ町民の皆さまの温かいご声援、ご協力をお願いいたします。

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
あさひまちアップルミートマラソン&ウォーキング
- P4 特集
それいけ!朝日町地域おこし協力隊
- P8 町政スポット
・朝日町交通安全町民大会
・今年度のテーマは「10年後の朝日町」地区座談会「町長と語ろう」
・町職員採用試験案内
- P10 朝日中2年生職場体験学習「キャリア・スタート」
- P12 まちレポ
・朝日連峰夏山開き ・流しそうめんをしよう!
・朝日町緑の少年団結団式 ほか
- P14 6総策定町民ワークショップふりかえり新聞
- P16 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト策策、それいけ 協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 和合地区に最上川が一望できる展望広場が完成、大沼の浮島に四阿を設置、各種大会の成績
- P19 戸籍のまど、となりのリンゴさん、町の主な行事・イベント
- P20 障がいを持つ人たちの 山形・福島地域間交流会

表紙の写真



6月24日、ゲストハウス松本亭一農舎(常盤)で、いもがわ少年教室が行われていました。今回の活動テーマは「流しそうめん」。当日は県内でも30度を超える真夏日で、冷たいそうめんは最高のごちそうとなりました。特製の流し台は、同敷地内に生える竹を切り出して作ったもので、みんなで協力して組み立てました。(5頁に関連記事)

町長歳時記 (132)

勝負事の魅力

～それは可能性を追求する姿～

「結果だけなら、じゃんけんでいい」と、将棋の羽生善治三冠が語ったことがあるそうです。確かに、ただ勝ち負けだけを定めるのなら、じゃんけんで十分かもしれません。しかし、それだけではないところに、人生の妙があるように感じられます。

世の中には無数の勝負事があります。スポーツから囲碁・将棋、そして、日常の勉強から仕事まで。あるいは、生きていることの全てにおいて、競い合ったり、励まし合ったり、思い、迷い、悩み、考え、試行錯誤を繰り返しながら、一歩また一歩と成長していくのが、私たち人間なのではないでしょうか。

ところで、ここ半年余り「藤井聡太」という名前を聞かない日がないくらい、連日、テレビ、新聞などメディア各社は、史上最年少14歳2カ月でプロ棋士になられた藤井四段のニュースを取り上げておりました。

またこのデビュー戦が62歳年の離れた伝説の棋士加藤一二三九段であったことも、感慨深いところがあります。そしてその対局に勝利したということが、その後の藤井伝説の強烈な発火点となったことも否定できないと思われます。以後29連勝。涼げなどこかにはかんだ14歳のプロ棋士が、あっという間に連勝記録を塗り替えてしまった、その非凡な才能に、日本中が時代の目撃者として狂喜乱舞したのも頷けます。竜王戦本戦2回戦で佐々木勇気五段との対局で、プロ入り後、初の敗戦を喫した藤井四段の今後に特に注目していきたいと思っています。

「勝負事の魅力とは、競い合う人の魅力であり、人に秘められた可能性を追求する姿だ」ある新聞に記されたこの一節が、私の心に深く響いてくる言葉となりました。

朝日町長 鈴木浩孝

阪野さん、水沼さんの活動記録 (6月24日)

- 8:00 水沼さん 出勤
- 9:00 いもがわ少年教室(流しそうめんとカードゲーム遊び) 手伝い
- 13:00 水沼さんから阪野さんへ業務引継ぎ
- 13:10 常盤楯山を整備する会活動(草の刈り払い、キノコの菌打ち)
- 16:30 宿泊客(宿直) 対応(翌午前10時チェックアウト後、清掃をして水沼さんへ引継ぎ)



町では、平成22年度より「地域おこし協力隊」制度(総務省事業)の活用を開始し、現在4人の隊員が、それぞれの役割を持って日々活動しています。実際に町に住み、地域の方々の協力を得ながら頑張る隊員の皆さん。今号では、彼らの普段の活動と地域とのつながり、まちおこしへの思いについて特集します。

全国863の自治体で実施

総務省の調べによると、平成28年度に活動した地域おこし協力隊員は4158人。受け入れ自治体も863を数え、各種メディアで、その活躍を目にすることも少なくありません。

県内では平成29年7月現在、90人以上の隊員が着任しており、町内では4人が活動しています。

地域おこし協力隊の活動

地域おこし協力隊は、役職名ではありません。その活動内容や活動範囲などの実施要項は受け入れ自治体で独自に定めます。町ではそれぞれに「情報交流推進員」「移住・交流推進員」「朝日町協力隊」の役割(下記参照)を委嘱。町の元気のために力を発揮してもらっています。

では、そんな隊員たちの普段の活動を、少し覗いてみましょう。

特集 *それいけ!* 朝日町 地域おこし協力隊

【協力隊員紹介】(敬称略)



◆移住・交流推進員

阪野 正義 (川西町出身)
水沼 祥乃 (香川県出身)

(主な仕事)
ゲストハウス「松本亭一農舎」(常盤区)の運営、管理人業務など



◆情報交流推進員

青木 亮太 (三重県出身)

(主な仕事)
ふるさと納税をはじめ、町が発行する印刷物などのデザイン力強化および発信力の強化など



◆朝日町協力隊(白倉区)

石井 応宝 (東京都出身)

(主な仕事)
白倉区の地域コミュニティ活動維持と支援、古民家の改修、情報発信など

地域の人も集まるゲストハウス

「おおく、流れた!」「すごい!」冷たくて気持ちいい!。子どもたちの笑い声が響いてきます。

6月24日、ゲストハウス松本亭一農舎を会場に、いもがわ少年教室(西部公民館主催)が行われていました。今回の教室は「流しそうめん」。敷地内の竹林から竹を切り出し、つゆ用の器や箸はみんなで手作りしました。

「町外からの旅行者はもちろん、こうして地域の皆さんに活用してもらえるのが嬉しい」と語るのは、当施設の管理人業務を行う水沼祥乃さん。移住・交流推進員として、今年3月から活動しています。

人と人をつなぐ場所

移住・交流推進員は、ゲストハウスの運営・管理を通して、町の外と中の人との架け橋となる役割を担います。施設には阪野正義さんと水沼さんの2人が交代で常駐。宿泊客がない日も、午後1時から8時まで、誰でも自由に訪れることができます。

「ゲストハウスのお客さまは、現地での交流を楽しみにやってきました。だから町の方にこそ気軽に立

ち寄ってもらいたいし、そういう場所になるように頑張ります!」

住民として地域活動に参加

同日午後、こちらはゲストハウスから少し離れた常盤区の水口十一面観音堂(町指定有形文化財)周辺。「常盤楯山を整備する会」(佐竹昇代表)による刈り払い作業が行われており、そこにもう1人の移住・交流推進員、阪野さんの姿がありました。会の活動は毎月1〜2回、定期的に行われています。同会の佐竹代表は「地域の豊かな里山と歴史ある文化財をみんなで協力して守ろう」と始まった活動。会の集まりは区民の絆を深め、貴重な情報交換の場にもなっている」と話します。

汗を流しながら「こうした地域活動に参加させていただくと、町の歴史や文化など、面白いお話をたくさん聞けます」と笑う阪野さん。「朝日町は知れば知るほど興味深く、人となりが楽しさを教えてくれた町。自分の感じたことや体験を活かして、その魅力を発信したり、ゲストと地域の皆さんとの交流の橋渡しをしていきたい」と仕事への思いを語っていました。

町民の声 [Interview]



◆梅津透子さん、彩果さん、知樹くん親子(常盤)

ゲストハウス松本亭一農舎には、子どもたちが毎週のように通っています。阪野さんも水沼さんも穏やかで親しみやすく、一緒に遊んでくれたりするので居心地がいいようです。親としても、子どもたちが家族以外の大人と気軽に触れ合える貴重な場所だと感じています。

常盤区長 長岡信悦さん▶

阪野さんはゲストハウスのオープン前から楯山の整備活動や区の祭りなど、地域活動に積極的に参加してくれています。町にもすっかり馴染んで、頼もしいですね。



地域おこし協力隊とは?

自治体の外から地域活性化につながる活動を行う人材の誘致を推進し、支援する総務省の事業。隊員が地域と協力しながらまちおこしを行うことにより、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

実施については自治体(市町村)が主体となり、その活動範囲や業務内容も、受け入れ自治体で自由に定めることができます。

町での協力隊第1号は、「桃色ウサヒの中の人」として「情報交流推進員」に着任した佐藤恒平さん。

3年の任期終了後、現在は地域おこしサポート会社「まよひが企画」を創業し、町に定住。まちづくり総合アドバイザーとしても活躍中です。



活動期間、経費は?

活動期間は「1年以上3年以下」。その活動経費には国からの特別交付税および普通交付税により、400万円を上限(※)として財政支援があります。
(※) 報償費ほか、その他の活動経費すべてを含んだ額

町での着任実績(人数)は?

現隊員を含めて11人です。

※緑のふるさと協力隊(NPO法人地球緑化センター事業/主に農山村地域の維持・活性化に係る活動を行う)との兼任5人を含む

石井さんの活動記録
(6月30日)

- 8:30 白倉区内の自宅(改修中の古民家)の掃除、洗濯、片付け
- 13:00 区長さんの仕事の手伝い(お知らせ板等配布の手伝いと地区民の見守り)
- 14:30 地区内の草刈り作業
- 15:30 古民家の改修作業
- 17:15 業務終了



声をかけあって日々を営む
「毎日あつて、お蔭で日中はなかなか外さ出らんねえよ」そうですか。体を大事に、無理はしないでくださいね」
白倉区の地域活動の維持と活性化、自治活動を支援する「朝日町協力隊」として、昨年9月に着任した石井宝(たから)さん。6月30日は町の文書配布日に当たっており、そのお手伝いをしながら区民の皆さんとあいさつを交わしていました。
「届け物などでお家を訪ねると、皆さん優しく声をかけてくれますし、野菜や山菜をいただいたり、時にはお茶に誘ってくださいます」と笑う石井さん。「懐か深いというか、そんな皆さんのために自分は何ができるのかと日々考えています」



青木さんの活動記録
(6月29日)

- 8:30 出勤
- 9:00 Asahi自然観で町職員と一緒打ち合せ
- 11:00 ぱれっと企業組合リーフレット用の撮影
- 13:30 ぱれっと企業組合とデザイン打ち合せ
- 15:30 役場でデザインの制作作業
- 17:15 業務終了

町への定住を視野に入れて
地域おこし協力隊は、自治体との雇用契約の結び方にもよりますが、基本的に「副業」が認められています。
町のふるさと納税をはじめ、町で発行される様々な印刷物などのデザインを行い、それによる発信力強化を図る情報交流推進員、青木亮太(あきら)さん。着任3年目となる青木さんは今後の町への定住も視野に入れ、役場での業務の他に、一般の方からの依頼もデザイナー個人として積極的に請けています。
依頼主の「やりたい」を叶える
「ジューズの写真に、りんごの品種のシールをつけてみたら」「コップに注いだイメージも欲しいね」
6月29日午後、ジューズや凍み

町民の声
[Interview]



ぱれっと企業組合
左から:岡崎優子代表(水)、海野澄子さん(送橋)
販売委託先の業者さんから、商品チラシや企業の紹介ができるものが欲しいと依頼され、どこに頼んだものかと悩んでいる時に、役場を通じて青木さんを紹介していただきました。実はその時まで青木さんのことは知らなかったんですが、お会いしてみると話しやすいし、デザインも想像以上に素敵。出合いに感謝です。

もち、漬物などの加工を行う「ぱれっと企業組合(岡崎優子代表)」で、りんごジューズのチラシと企業紹介リーフレットのデザイン打ち合わせが行われていました。
「シールは目立つので、ジューズの色の違いで複数の品種を表すのはどうでしょう」「ジューズを注ぐコップはどんなものが良いですか」。青木さんの提案をきっかけに打ち合わせは大いに盛り上がり、新たな要望や具体的なアイデアが次々と出てきます。「撮影用の商品サンプルをお借りします。また、他にもご希望があればいつでも連絡してください」
ぱれっと企業組合の岡崎代表は「話しやすいし、すぐに反応してくれるので、あれもこれもとやりたいことが浮かんできます」

デザインにもこだわらる選択肢
「依頼主の皆さんが喜んでくれたり、それを受け取ったお客さまからも反応があるのが嬉しい」と語る青木さん。「デザインにこだわれば、その分愛着が湧いてきます。また、お話を聞いてみると皆さん本当に様々なアイデアを持っていて、その思いをデザインで形にするお手伝いをするのが自分の仕事だと思っています」
活動最終年度。仕事ではなく仕組を残すことを意識するようになったといいます。「今後の朝日町に『デザインにもこだわるという選択肢』が増えることを目指して頑張ります」

朝日町協力隊の仕事

白倉区長の阿部ご夫妻は、いつも石井さんを気にかけてくれています。「区の方から草取りをお願いしたい場所があるって問い合わせがあったから、今度お話を聞いてみて」。この日も奥様の洋子さんが、凍みもちと煮物のお土産を手に訪ねてきていました。地区の皆さんを見守り、困りごとの解決や地域活動の中心に立つ区長さん。石井さんは区長さんと連携を取りながら、人手の足りない部分へのサポートを行います。
また、自宅として借りている古民家の改修も大事な仕事。一級建築士の資格と経験を活かし、空き家や空き校舎の利活用を通して地域おこしの第1歩として取り組んでいます。

白倉に感じる可能性

「特に白倉区はAsahi自然観の建設など、外的な変化への柔軟さや寛容さがあり、その結果、多くの観光客が訪れる場所になっています。町内で最も標高が高く景色が良いし、道は広く整備されて除雪も上手。そういう面をもっとPRできれば」と語る石井さん。「エリアリノベーション(空き店舗や空き家等の改修をきっかけに地域全体が活性化すること)を実践する土壌としても可能性は十分です。例えば雪下ろしの必要ない家が提案できれば、雪がネックという人も入ってきやすくなる。まずは自分がそのモデルケースを提示できるように勉強しています」と、今後の活動についての意欲を語りました。

町民の声
[Interview]



白倉区長の奥様 阿部 洋子さん
雪の降らない関東から雪深い慣れない土地に来て、大変なことも多いと思いますが、地区の仕事を一生懸命手伝ってくれています。冬場は特に、公民館や防火水槽の除雪作業を汗びっしょりになりながらやってくれました。草刈りも最近は安心してお願いできます。こうした仕事は、やっぱり男手があると心強いですね。

番外編：隊員卒業生からのメッセージを紹介します

協力隊として朝日町を訪れてから5年が経ちました。当時、右も左も分からない私を西部地区6区(大船木・今平・石須部・白倉・高田・長沼)の区長さんをはじめ町民の皆さんが温かく見守ってくれたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。着任すぐの春、各集落のお祭りに呼ばれてペロンペロンに酔っぱらったのもいい思い出です。任期終了後は一町民として大船木に定住し、町で働きながら各種行事、班長、契約などを経験しました。これらを通して「おらが部落」という感覚が育まれたように感じます。若輩者で色々迷惑をお掛けしますが、これからもよろしくお願いします。

▶森 太介さん 平成25年4月～26年3月まで、緑のふるさと協力隊 兼 地域おこし協力隊として活動



お久しぶりです。「桃色ウサビの弟子」としてお世話になりました橋本です。協力隊を卒業して1年半。私は現在、新潟県上市「生業(ナリワイ)の里」で、伝統工芸の「羽越しな布」を守り、継承する仕事をしています。定住はいいんですが、朝日連峰とその麓での暮らし、話す言葉、食べ物今の私をつくり、離れても朝日町は自分の「ふるさと」だと感じています。卒業後も何度か町を訪れていますが、その頃にお世話になった方々の顔が浮かび、「あの人は元気かな」と、帰る時いつも名残惜しいです。これからも、また町のどこかでお会いできる日を楽しみにしています。

▶橋本 啓さん 平成25年6月～27年12月まで、地域おこし協力隊(情報交流推進員)として活動



平成 30 年 4 月 1 日付採用

町職員採用試験案内

職種	上級行政	初級行政	保健師	看護師	薬剤師
採用予定人員	若干名	若干名	1名	若干名	1名
職務内容	行政事務に従事		保健師の業務に従事	町立病院に勤務し、試験区分の免許を必要とする業務に従事	
年齢要件	昭和 63 年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方で、大学卒業程度の学力を有する方	昭和 63 年 4 月 2 日から平成 12 年 4 月 1 日までに生まれた方（4 年制大学卒業の方は受験できません）	昭和 58 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、保健師の免許を有する方または平成 30 年 5 月まで当該免許を取得する見込みの方	看護師の免許を有する方または平成 30 年 5 月まで当該免許を取得する見込みの方	昭和 63 年 4 月 2 日以降に生まれた方で、薬剤師の免許を有する方または平成 30 年 5 月まで当該免許を取得する見込みの方
住所要件	採用後、特別な理由がある場合を除き朝日町内に居住できる方				
試験日程	【一次試験】教養及び専門試験、職場適応性検査 ・期日…9月17日(日) 場所…朝日町役場 【二次試験】作文、面接試験 ・一次試験合格者を対象に後日実施		9月中に作文、面接試験を実施		
受験手続	受験申込書等必要書類を揃え、 8月9日(水) まで、保健師、看護師、薬剤師については 8月31日(木) まで役場総務課へ提出。(郵送の場合は同日必着)。※受験申込書の取得方法は、役場総務課(2階)で直接取得、郵送による取得、町ホームページからダウンロードにより取得してください。 ▶問合せ先 総務課 ☎67-2111				

元気で明るいまちづくりを、私たちと一緒に

～ 若手職員が語る「わたしの仕事」～

29年度採用

鈴木 彩佳
(町立病院 看護師)



病棟看護師として、検査や治療など、入院生活が円滑に心地よく送れるようにサポートしています。

患者さんを通じて様々なことを学ばせていただいております。相手に寄り添った思いやりのある看護を提供できるように日々の仕事に努めています。

29年度採用

鈴木 将和
(税務町民課 主事)



後期高齢者医療保険料と介護保険料の賦課徴収などを担当しています。

町民の皆さんに分かりやすく説明ができるよう勉強しながら、日々の仕事に取り組んでいます。また、税金を扱う仕事ですので、間違いのないように心掛けています。

29年度採用

和南城 達輝
(総合産業課 主事補)



朝日連峰をはじめとする登山のご案内やお祭りなど、町の観光PRを担当しています。

朝日町には豊かな自然やユニークなお祭りがたくさんあります。町を訪れるお客さまに安全に楽しく参加していただき、町を好きになってもらえるように努めています。

町民みんなで交通事故のない安全なまちづくりを 朝日町交通安全町民大会

■総務課 防災係 ☎67-2111



町民一人ひとりがルールとマナーを守り、交通事故のない安全で快適なまちづくりを推進するため、町交通安全町民大会が6月14日、創遊館ホールで開催されました。

町交通安全推進協議会主催で、会員ほか一般町民など約250人が参加。大会ではまず、寒河江警察署の佐藤景三署長が近年の交通事故発生状況について報告した後、「朝日町は平成26年10月から死亡事故ゼロの記録を維持している。皆さんの日々の交通安全活動の賜物であり、今後も記録更新にご協



▲あさひ保育園年長組「かもしかクラブ」による開会セレモニー
▲交通事故の悲惨さと事故防止を訴える寒河江警察署の木村交通課長

役に対する感謝状の贈呈が行われ、最後に大会宣言の採択をもって、交通事故のない明るいまちづくりの誓いを確認しました。

力をお願いしたい」とあいさつ。その後、寒河江警察署の木村弘紀交通課長が「交通事故に遭わないために」との演題で講演。「誰もが事故を起こそうとして起す訳ではない。しかし、些細な気の緩みが大きな損失につながる」と実例を交えて語り、交通ルールを守り、疲れたら運転を休むという「当たり前前心がけ」の大切さを訴えました。

大会では他に、あさひ保育園年長組の園児たちによる開会セレモニー、長年にわたり安全運転管理者を務めた株式会社朝日清掃社の鈴木高光代表取締役に対する感謝状の贈呈が行われ、最後に大会宣言の採択をもって、交通事故のない明るいまちづくりの誓いを確認しました。

今年度のテーマは「10年後の朝日町」 地区座談会「町長と語ろう」

■政策推進課 地域情報係 ☎67-2112



下芦沢地区での座談会の様子(6月22日)

「町長と語ろう」が、6月22日の下芦沢地区を皮切りに、今年も町内全地区で開催されています。

開催13年目となる今回のテーマは、「10年後の朝日町」について。今年度は第5次町総合発展計画の最終年にあたると同時に、第6次町総合発展計画策定年という大きな節目の年です。

この先10年間の町政指針を定める最上位計画に、町の皆さんの意見や思いを盛り込んでいきたいという鈴木町長の思いのもと、意見を交換しています。

6月22日の下芦沢地区では、人口減少と耕作放棄地、町民総参加のお祭り等についての提案があったほか、「区の宝である三十三観音を自分達で整備し、新たな名所にしたい」という意見が出され、鈴木町長は「各地区には素晴らしい宝が眠っている。それらに光を当てよう前向きな活動がすすむを歓迎しました。」

この先もずっと幸せに住み続けられる朝日町を実現するためには、地域の皆さんのご協力が不可欠です。皆さんの地域への思いやまちづくりへの意見、アイディアなど、直接町長へ届けてみませんか。

各地区の日程については、文書配布日に合わせて区長さんから配布される案内チラシをご覧ください。多くの方のご参加をお待ちしています。



■生徒受け入れにご協力いただいた事業所です（写真紹介以外）。ありがとうございました。

(株)ニクニアサヒ、(有)朝日町ワイン、(株)朝日自然観、(有)近江屋、セブン-イレブン宮宿店、サンクス山形朝日町店、(株)きらやか銀行宮宿支店、特別養護老人ホームふれあい荘、グループホームあさひ、あさひ保育園、西五百川小学校、宮宿小学校

(敬称略、順不同)



1. (株)朝日相扶製作所 2. (有)山形朝日オーストリッチ産業センター朝日町健康工房「ロイフェン」 3. 大谷小学校 4. 地域振興サポート会社 まよひが企画 5. 盲特別養護老人ホーム和合荘 6. (株)ヒグチあさひまち りんごの森 7. JAさがえ西村山朝日営農生活センターアグリ朝日店



(株)朝日相扶製作所
◆イス・テーブルの梱包作業など

ちょっとしたザラつきやズレも見逃さず、手作業で丁寧に修正する職人さんはすごいと思いました。朝日相扶の家具は海外にも出荷されていると聞きます。高い品質と技術が認められているのだと感じました。(阿部愛悟)



盲特別養護老人ホーム和合荘
◆入居者の方の身のお世話など

昔からおじいちゃんやおばあちゃんと遊ぶのが好きで、将来は介護士を目指しています。体験学習で色々な方と出会い、お話ができて楽しかったです。夢を叶えるために頑張ろうという気持ちになりました。(今井舞乙)



大谷小学校
◆授業の補助、児童とのふれあいなど

プールや音楽の授業の補助や本の読み聞かせなどをしました。学校の授業より活動時間は短いけど、自分で考えることが多くて疲れました。子どもたち1人1人と向き合う先生という仕事の大変さが分かりました。(田中文崇)

職場体験を通じて...



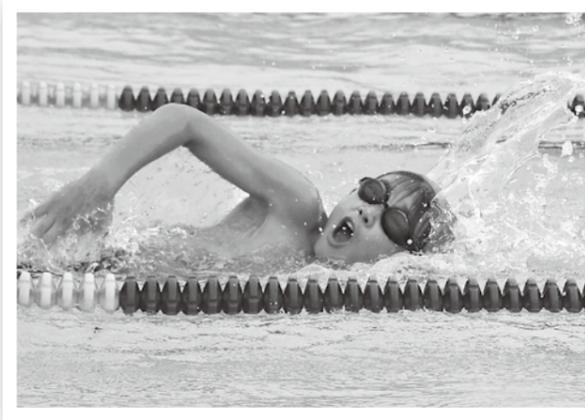
朝日中2年生職場体験学習「キャリア・スタート」

7月5日から7日にかけての3日間、朝日中2年生による職場体験学習「キャリア・スタート」が実施されました。

朝日町では平成18年度から開始し、今年で11年目。実際の仕事を通して、職業観や働くことの意義、社会生活のルールやマナー

などを学習する取り組みです。

今年度は54人が、町内20の受け入れ事業所に分かれて活動。地域に根ざした職場体験と、日ごろ接することの少ない異世代との交流などを通じて、自分の将来や社会生活を意識する第一歩を踏み出しました。



7/4 平成 29 年度 町小学校水泳競技記録会

7月4日、町小学校水泳競技記録会が町民プールを会場に行われ、町内3小学校の5・6年生101人が出場しました。競技では、児童たちがそれぞれの得意種目にエントリー（リレーを除く）し、自己記録の更新にチャレンジ。当日は小雨のぱらつく肌寒い天気でしたが、日頃の練習の成果を発揮し、最後まで精いっぱい泳ぎ切りました。各校対抗で競うリレーでは応援も大いに盛り上がり、ゴールしたすべてのチームに大きな拍手が送られていました。



5年男子	1位	記録	2位	3位
50m自由形	堀 龍空 (宮)	47秒2	吉田璃央 (宮)	加藤佳吾 (宮)
50m平泳ぎ	鈴木明空 (大)	50秒3	千葉寛明 (宮)	長岡丈裕 (西)
50mバタフライ	海藤 珀 (西)	55秒5	阿部佑太 (宮)	—
50m背泳ぎ	長岡大聖 (西)	56秒2	滝川 壯 (宮)	三上来貴 (宮)

5年女子	1位	記録	2位	3位
50m自由形	三橋綾菜 (宮)	54秒0	石塚佐那 (宮)	熊谷美菜 (宮)
50m平泳ぎ	成原結愛 (宮)	56秒4	設楽みらい (宮)	渡辺咲花 (宮)
50mバタフライ	白田依音 (大)	1分06秒9	—	—
50m背泳ぎ	熊谷帆香 (宮)	53秒0	堀 光姫 (大)	小嶋愛桜 (大)

6年男子	1位	記録	2位	3位
50m自由形	細谷慶太郎 (宮)	48秒5	柏倉 和 (西)	阿部凌太 (宮)
50m平泳ぎ	本間樹真 (大)	49秒0	渡辺 康 (宮)	布施珀斗 (宮)
50mバタフライ	遠藤聖也 (大)	58秒6	近衛岳音 (宮)	渡辺皇紫 (宮)
50m背泳ぎ	阿部奏翔 (宮)	54秒5	—	—
100m自由形	海野 翔 (西)	1分35秒0	佐藤慧典 (宮)	鈴木凜太 (大)
100m平泳ぎ	鈴木聖人 (宮)	2分03秒3	—	—
100m背泳ぎ	阿部大翔 (西)	1分52秒7	鈴木玄助 (大)	—
200m個人メドレー	志藤大地 (大)	3分37秒1	長岡大空 (西)	—

6年女子	1位	記録	2位	3位
50m自由形	長岡桃子 (宮)	39秒0	早坂優希 (大)	長岡優亜 (宮)
50m平泳ぎ	伊藤穂乃花 (西)	49秒8	鈴木陽菜 (宮)	若月保歩 (西)
50mバタフライ	菅井来夢 (宮)	53秒3	佐竹 萌 (西)	—
50m背泳ぎ	大沼愛華 (宮)	55秒6	長岡萌美 (西)	—
100m自由形	白田桃香 (宮)	1分27秒4	海野花歩 (宮)	阿部桃花 (宮)
100m平泳ぎ	松尾神那 (宮)	2分00秒5	堀紗くら (大)	—
100m背泳ぎ	遠藤美咲樹 (大)	2分03秒1	—	—

200mメドレーリレー	1位	記録	2位	3位
男子	大谷 A	3分08秒2	西五百川A	宮宿 A
	(大谷 A の選手 … 本間樹真、鈴木明空、志藤大地、鈴木凜太)			
女子	宮宿 A	3分09秒2	宮宿 B	西五百川A
	(宮宿 A の選手 … 白田桃香、松尾神那、菅井来夢、長岡桃子)			

200mリレー	1位	記録	2位	3位
男子	大谷 A	2分41秒7	西五百川A	宮宿 A
	(大谷 A の選手 … 本間樹真、遠藤聖也、鈴木凜太、志藤大地)			
女子	宮宿 A	2分45秒4	大谷 A	宮宿 B
	(宮宿 A の選手 … 白田桃香、菅井来夢、海野花歩、長岡桃子)			



◀ 団員の証として、全員に緑のスクarfとワッペンが授与された



6/18 シーズン中の安全を祈願 朝日連峰夏山開き

本格的な登山シーズンの到来を告げる夏山開きの式典が6月19日、朝日連峰鳥原山の朝日獄(あさひだけ)神社で行われました。朝日町のほか、鶴岡、寒河江、長井、西川、大江、白鷹の7市町の山岳会や観光団体および行政関係者など約120人が参加。神事では、各団体の代表者が玉串を奉納し、4カ月間にわたるシーズンの安全を祈願しました。式典の最後は参加者全員で「朝日山岳歌」を斉唱。初夏の山頂に歌声を響かせました。

6/25 手づくりの流し台でおいしいそうめんに舌鼓 流しそうめんをしよう!

6月25日、北部公民館主催のドキドキ探検隊「流しそうめんをしよう!」が秋葉山交遊館で行われ、児童や保護者など約30人が参加しました。近くの竹林から許可を得て竹を切り出し、同探検隊の企画・運営などを手がける「達人クラブ(鈴木直幸代表)」の指導のもと、流し台とお椀、箸をみんなで手づくり。水の流れとともにそうめんやさくらんぼが流し台を滑ると大きな歓声があがり、児童たちは夢中ですくいながら夏の「涼」を味わっていました。

6/27 ふるさとと自然を愛し、緑を守り育てる 朝日町緑の少年団結団式

ふるさとの豊かな自然を守り育てる「朝日町緑の少年団」結団式が6月27日、秋葉山で開催され、町内3小学校の4年生53人が団員に任命されました。式では、少年団の運営協議会長である小林教育長が「緑に親しみ、人と自然に優しい人になってください」とあいさつし、児童たちへ団員の証となる緑のスクarfとワッペンを授与。その後、体験活動として木のネームづくりを行いました。今後団員の4年生は、緑を守る奉仕活動や学習、レクリエーションなどを行っていきます。

6/30 神社総代会発案で開始して2年目 大沼浮嶋稲荷神社で夏越の祓

1年の折り返しに半年分の穢(けがれ)を落とし、後半の健康と回除けを祈願する「夏越の祓」。6月30日、大沼浮嶋稲荷神社で地区住民による参拝が行われ、約15人が参加しました。同神社総代会員が大沼区(かやよし)の茅と葦、竹で作った「茅の輪」を8の字を描くように交互にくぐりながら、後半の健康を祈願しました。小林晴雄神社総代会長は「神様に感謝し、また地区外からも神社を訪ねるきっかけとなるよう、来年以降も続けたい」と語っていました。

◆ワークを終えて…【講評】

今回も皆さんの熱気が感じられるワークショップで、議論の中身もかなり熱くなってきている段階だと思います。

他のテーマの議論や、他の地方の事例なども参考にしながら、次回以降のワークでは、**町民の皆さん自身による「こういうことができそうだ」「町民と役場が協働してこういうことができそうだ」というスタンスでのアイデアを期待したい**と思います。

町民ワークショップアドバイザー(東北芸術工科大学 コミュニティデザイン学科准教授)

醍醐 孝典氏



【チーム(テーマ)紹介】

- ①住まい ②交通 ③地域から信頼される行政のあり方 ④教育 ⑤子育て ⑥農業 ⑦観光・交流 ⑧仕事の確保 ⑨地区の活動 ⑩まちの賑わい創出 ⑪困りごと支援 ⑫医療、福祉 ⑬健康増進 ⑭その他

◆参加者の声(アンケートより一部抜粋)

▶行政に依存しない町づくりを考えるのは難しいが、おもしろい。

▶行政主体ではなく、地域でという考えを聞くことができた。行政としてバックアップ等、しっかりとした考えを持っていきたい。

▶ワークショップの中で、チームの議論を深める時間が少し足りなかった。

▶テーマが広く、様々な意見があって、まとめるのが難しそうだ。

.....

◆次回予告

次号は、第4回【6月26日:チーム(テーマ)ごとの活動アイデアを考えよう】の様子をレポートします。おたのしみに!

※全チームすべての意見や詳細を掲載した当新聞の完全版は、役場1階窓口入口に設置しているほか、町ホームページからダウンロードできます。

交通

『世代毎の交通を考える』

- 子どもたち…保育園・スクールバス、放課後児童クラブへの交通手段 / 小学生にデマンドタクシーを利用してもらえるようPR
- 交通機関の課題…山交バス乗り継ぎの改善 / デマンドタクシー土日運転 / デュアルモードビークルの実現
- おとな世代・高齢者…高齢者の移動手段



教育

『ASAHI っ子よ 大志を抱け!』

- 自分で考える力をつける教育、他人を思いやれる教育
- 町ならではの学習環境、夢を追い続けられる環境
- 自分の町を好きになる教育、学校と地域の関わり

子育て

- のびのび…のびのび遊べる場、親子で参加できる集まりの開催 / 親同士、地域の方との関わり、親への教育の場を増やす / ○朝日町での子育て…遊具、遊びの種類や内容の充実 / 自然環境を活かしていない / 習い事・部活が選べない / 病児保育、小児科がない / 高校が遠い

チーム(テーマ)ごとの大切な
~ワークショップで出た意見の一部

農業

『もうかる・楽しむ・続ける農業』

- もうかる・楽しむ・続ける…経営の勉強 / ブランド力を上げる / いい物をつくり続ける / ワークライフバランス、農業を楽しむ / ○若手…後継者の育成、女性農業者への支援 / 当初資金がなくても農業をやれる環境づくり
- 課題・悩み…耕作放棄地 / 農業のリーダー



仕事の確保

- 今ある企業の発展・活性化、最高のものづくり等
- 農業分野の仕事確保…農業法人の設立 / 特用作物栽培 / 体験プログラム
- 若者の就業支援・創業…若者にもっとお金を使う / 創業に挑戦できる環境
- 高齢者の仕事…高齢者が働く場 / 高齢者の経験、能力とのマッチング
- 情報発信…町内企業の情報の周知 / 仕事の情報が集まる場所

地区の活動

- 少子高齢化…高齢者になっても生活できる / 安心、安全 ○組織・リーダー…地区民の協力の減少 / リーダー、サポーターの育成 / ○助け合い…冬の除雪の区民の理解と協力 / 助け合える近所づきあい / ○消防団…消防に対する理解と協力、団員確保 / ○伝統…地区行事の見直し、参加しやすさ

14チーム、出揃いました。



町民みんなで、これからの幸せをともに考える
6 総策定町民ワークショップ
ふりかえり新聞
3

【第3回】
日 時:平成 29年5月23日(火) 午後7時~9時10分
場 所:開発センター2階 ホール
参加者:一般町民 37名、町職員 40名 計 77名

コンセプトを考えよう
を紹介します~



まちのにぎわい創出

- 地域全体の横のつながり / ○子どもと女性、シニアの集いの場 / ○イベント等は民間主体で行政がバックアップ…若者と高齢者をつなぐ中間層リーダーの育成 / 集まりやすい場所、交流の場 / 中心街の活性化 / 若者が住みやすい環境

医療、福祉

- 病棟の空床利用 / 常勤の整形外科医、小児科専門医、子どもが夜間かかれる病院 / 医療費上昇を防ぐ取り組み / お互いに支え助け合う関係づくり / 笑い ユーモア 楽しく生きる / 病院受診時の足の確保などのサポート / 亡くなるまで家で / 仕事や役割がある / 障がい者に対する理解、サポート体制

PLAYBACK ワークショップ
~ 当日は、こんなことをやりました ~

町では、平成30年度から39年度までの10年間のまちづくりの指標となる「第6次町総合発展計画」策定に向け、「町民ワークショップ」を開催しています。

第3回では、それぞれ関心のある14のテーマに分かれて3~9人のチームを編成。当ワークショップの最終目標と今後の流れについて、町民ワークショップアドバイザーである醍醐孝典氏より説明があり、その後アイスブレイクとして「マシュマロチャレンジ」(パスタの乾麺とマスキングテープ、たこ糸等の共通の材料でできるだけ高い塔を作り、頂上にマシュマロを刺すゲーム)を行いました。

チーム同士打ち解けた後、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーの進行により、**テーマごとの大切なコンセプトを考え、キーワードを選び出しながら意見交換をしました。**



気になるテーマへ町民大移動



これらを使って…



チャレンジ!



朝日町に来て、丸2年が経ちました。昨年の今頃も「もう一年経ったのか」と思いましたが、そこからの1年もあつという間でした。

2年目は協力隊の仲間も増え、ふるさと納税に関するデザイン業務以外にも大きな仕事に携わるチャンスがいただきました。町総合観光パンフレットの刷新、大谷小6年生「お仕事の授業」での移動販売車のデザイン指導、ゲストハウス松本亭一農舎PRに関する各種デザインなど、どれも朝日町2年生にとっては贅沢な仕事の数々でした。



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「朝日町3年生」

朝日町情報交流推進員 青木亮太 (三重県出身)



▲2年目にデザインしたロゴマークやチラシなど

また、ロジックしらくらや町女性消防のロゴデザイン、町内で開催されるイベントのグッズや、お店のチラシ・名刺制作など、町内の皆さんからも少しずつ仕事の依頼をいただけるようになりました。

デザインの仕事の多くは、特に資格を必要としませんが、ちよつとしたアイデアとインターネット環境、そして少しだけお金をかければ、誰でも作りたいグッズを簡単に作れます。興味のある方は、ぜひチャレンジすることをすすめします。

また、「せっかく作るなら良いモノを作りたい。でもどうすればいいかわからない」という方は、一度お話を聞かせてください。アイデアは人に話したり文字にしたりすることで気付きが生まれて、さらに面白くなる可能性があります。

きっと朝日町3年目もあつという間だと思いますが、何かを考えたり作ったりするワクワクドキドキを、皆さんとたくさん共有できる1年にしたいと思います。

また、ロジックしらくらや町女性消防のロゴデザイン、町内で開催されるイベントのグッズや、お店のチラシ・名刺制作など、町内の皆さんからも少しずつ仕事の依頼をいただけるようになりました。

デザインの仕事の多くは、特に資格を必要としませんが、ちよつとしたアイデアとインターネット環境、そして少しだけお金をかければ、誰でも作りたいグッズを簡単に作れます。興味のある方は、ぜひチャレンジすることをすすめします。

また、「せっかく作るなら良いモノを作りたい。でもどうすればいいかわからない」という方は、一度お話を聞かせてください。アイデアは人に話したり文字にしたりすることで気付きが生まれて、さらに面白くなる可能性があります。

きっと朝日町3年目もあつという間だと思いますが、何かを考えたり作ったりするワクワクドキドキを、皆さんとたくさん共有できる1年にしたいと思います。



男性の皆さんが料理の基本を学ぶ 男の料理教室(初級コース) を開催します



今月の担当…菅井 久美子 管理栄養士

男性が料理を学ぶ「男の料理教室」の初級コースを、左記日程で行います。第1回目は6月29日に開催し、大変好評でした。

- 日時 7月27日(木) 午前10時～3時間程度
- 場所 北部公民館調理室
- 持ち物 エプロン、バンダナ
- 参加費 300円

男の料理教室は、町で10年以上続く人気の教室です。でも、初めて教室に参加される方は、よく「気にはなっていないけど、1人で参加するのは気が引けて…」とおっしゃいます。新しいことを始める時、誰でも最初は不安なものです。そこで今回は、初参加の方をメインにした「初級コース」を開催することになりました。ご飯の炊き方、包丁の持ち方など、料理の基本を学べる内容になっています。講師は食生活改善推進員(以下「食改」というボランティアの皆さんです。町内のベテラ

- 材料(4人分) きゅうり1本、玉ねぎ2分の1個、トマト1個、みそ適宜、水500ミリリットル、顆粒だし4グラム、プレーンヨーグルト100グラム
- 作り方 ①きゅうりは皮をむいて輪切り、玉ねぎは粗みじん切りにする。トマトは湯むきして食べやすく切る。②鍋に分量の水を沸かし、切った野菜を加えて煮る。味を見ながらみそ顆粒だしを加え、最後にヨーグルトを溶かしてできあがり。

教室では他にも、昔ながらの料理などが登場します。この機会に、ぜひ参加してみませんか。

▼問合せ先
町食生活改善推進協議会(健康福祉課内)
☎67・2116



町全体が博物館! 朝日町エコミュージアム サテライト散策

第3回 大沼の浮島

【DATA】国道287号線の朝日町役場前交差点より西に入り、船渡・ハツ沼を経て約8km、散策所要時間 約30分

水面標高307m、沼面積約21,000㎡、最深点2.7mの大沼では、湖岸の泥炭に生育するヨシ群落から分離したとされる浮島が浮遊している様子を眺めることができます。白鳳9年、山岳修験者役 證覚により発見され、弟子の覚道によって開山されたと伝わり、湖上に島が浮遊する神秘の沼として信仰の対象となりました。大正14年に国指定名勝に指定され、沼周囲の景観等も保存されており、遊歩道を巡ると自然そのものの姿を楽しむことができます。



【おすすめの季節】6月～7月、11月初旬

浮島が風に関係なく動くのは水流と水質の関係だという説もあるけど、定かではないので、やっぱり神様が動かしているのかもしれないね。また、水面に木の葉が浮かんでいないのは、お姫様が早朝に掃き清めるため…等、大沼に関する伝説はたくさんあるんだ。毎年7月の第3日曜日には、島を切り出す神事を行う「島まつり」があるよ。

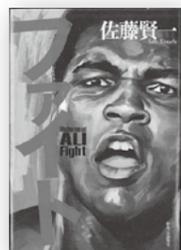
案内人のつぶやき



町立図書館新刊案内

フアイト

「Muhammad Ali Fight」
佐藤 賢一 著



世界王者、差別、戦争、アメリカ合衆国、そして老い。全ての闘いでベストを尽くした伝説のボクサー、モハメド・アリの姿を、魂を込めて描く。「小説BOC」連載を単行本化。著者は鶴岡市在住。

リリちゃんの

ふしぎな虫めがね
最上平 作/青山友美 絵



リリは、知っている人に話しかけられるのがこわい。ほんとは学校になんか行きたくない。リリは、なishよの友たち、虫めがねをポケットに入れて学校に行く。虫めがねを使って校門の中を見ると、そこは、海…!

MS他の新刊

- ▼全国の犬像をめぐる/青柳健一
- ▼アニメ/原田マハ
- ▼ドクター・デスの遺産/中山七里
- ▼カラストロフ・ミアア/島田雅彦
- ▼球道恋々/木内昇
- ▼かがみの孤城/辻村深月
- ▼どんどん虫が見つかると/鈴木梅花
- ▼幸せのありか/渡辺和子
- ▼ヨチヨチ父/ヨシタケ シンスケ
- ▼じごくゆきつ/桜庭樹
- ▼デンジャラス/桐野夏生
- ▼悪左府の女/伊東潤
- ▼武曲(むこく)2/藤沢周
- ▼宅配がなくならない/松岡真宏
- ▼みんなが支持したベストおかず120
- ▼アキラとあきら/池井戸潤
- ▼横濱エトランゼ/大崎梢
- ▼あなたならどうする/井上荒野
- ▼増山超能力師大戦争/菅田哲也
- ▼木練柿/あさのあつこ
- ▼東雲の途/あさのあつこ
- ▼地の果て/あさのあつこ
- ▼応仁の乱/呉座勇一
- ▼火喰鳥/今村翔吾
- ▼潮騒はるか/葉室麟 ほか



【ブックテマコーナー】
『海の日』『山の日』特集
～自然と親しむ海・山・川に出かけよう!～

戸籍のまど

Asahi town

6月1日～6月30日届出

Births

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
平	清野 柚紀	女	直己・小百合
宇津野	浅岡 勇愛	男	勇也・春香

Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
太郎一	大高 義美	本人
大町	鈴木 ちよの	長一
能中	海野 キク	勇
杉山	齋藤 正雄	光男
杉山	鈴木 せつ	久男

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population

人口と世帯数

●平成29年 6月30日 現在
※()内は先月比

人口 7,144 人 (-10)
男 3,531 人 (-4)
女 3,613 人 (-6)
世帯数 2,466 世帯 (-3)

----- 6月中の異動 -----

出生 2人 転入 7人
死亡 6人 転出 13人
(※外国人を含む)

～お詫びと訂正～

本紙の先月号(2017年6月号)9頁の「朝日中学校1年生 町歩きで地域の皆さんに学ぶ」記事内で「朝日探求の日」「探求型学習」と表記しましたが、正しくは「朝日探究の日」「探究型学習」でした。お詫びして訂正いたします。

とないのリンゴさん

(293)

ホリイ



町の主な行事・イベント

(7月17日～8月16日)

- 7月17日(月) 大谷白山神社祭礼
- 24日(月) 6総策定町民ワークショップ⑤
- 27日(木) 中学生海外派遣研修(～8月3日)
- 8月6日(日) 朝日川溪流まつり
- 14日(月) 宮宿納涼盆踊り大会



昨年の様子:中学生海外派遣研修(左)、朝日川溪流まつり(右)

和合地区に最上川が一望できる展望広場が完成



◀展望台からの眺め。最上川と町の自然風景が楽しめる

町は今年3月末、和合地区(言特別養護老人ホーム和合荘敷地隣)に展望広場を整備しました。都市再生整備計画の環で、現地町民の皆さんの要望により建設。小高い丘の上に設置された展望台からは、最上川の雄大な流れをはじめ、町の自然豊かな景観を楽しむことができます。駐車場もありますので、ぜひ一度足をお運びください。

大沼の浮島に四阿を設置



今年3月末に、大沼の浮島の湖畔に四阿(あずまや)が設置されました。大沼浮嶋稲荷神社(最上俊一郎宮司)が事業主体となり、国・県および町の文化財保存と活用に係る補助金を利用して建設。湖面に近い場所でゆっくりと休みながら、浮島が漂う様子を眺めることができます。ぜひ一度足をお運びください。

また、浮島周辺を巡る遊歩道も整備されています。順路案内や樹木の紹介などの手づくりの看板は、最上宮司と昨年度まで活動した緑のふるさと協力隊(朝日町協力隊)の皆さんの手によるものです。こちらもご注目ください。

各種大会の成績

★印は県大会出場



女子4×100mリレーで見事県大会出場を決めた宮宿女子Aチームのメンバー(左から 渡邊紗代、長岡桃子、堀美鈴、布施琴音)

- 第23回西村山陸上競技選手権大会(6月4日/寒河江高校グラウンド)
 - 〔小学生男子の部〕
 - ▼1位:6年100m 志藤大地(大谷/寒河江JAC)★
 - ▼2位:4×100mリレー 寒河江JAC
 - ▼3位:4×100mリレー 寒河江JAC
 - ▼4位:ジャベリックボール投げ 鈴木明空(大谷)
 - ▼5位:走高跳 佐藤涼介(大谷)
 - ▼6位:ジャベリックボール投げ 白田陸聖(大谷)
 - ▼7位:1000m 堀龍空(宮宿)
 - 〔小学生女子の部〕
 - ▼1位:走幅跳 堀美鈴(宮宿)★
 - ▼2位:6年100m 長岡桃子(宮宿)★
 - ▼3位:800m 布施琴音(宮宿)★
 - ▼4位:800m 峯田結羽(宮宿)★
 - ▼5位:4×100mリレー 宮宿A(堀美鈴、長岡桃子、渡邊紗代、布施琴音)★
 - ▼6位:走高跳 大沼愛華(宮宿)
 - ▼7位:6年100m 渡邊紗代(宮宿)
 - ▼8位:走幅跳 設楽みらい(宮宿)
- 西村山中学校総合体育大会(6月17日/18日/各会場)
 - 〔団体戦〕
 - ▼1位:ソフトボール★、剣道女子★
 - ▼2位:ソフトテニス男子
 - ▼3位:バスケットボール男子、柔道男子
 - 〔個人戦〕
 - ▼1位:剣道女子 小野舞夢★、柔道男子 55キロ級 若月真都偉★、柔道女子 48キロ級 若月乃朱★
 - ▼2位:剣道女子 齋藤とも★、卓球女子 阿部愛美★、柔道男子 66キロ級 菊地翔悟★、柔道男子 50キロ級 菊地健人
 - ▼3位:剣道女子 堀美宙★、剣道女子 渡辺りりか★、柔道男子 50キロ級 阿部風、柔道男子 81キロ級 志藤美介、柔道女子 52キロ級 鈴木七海
 - ▼県大会出場:剣道女子 佐藤百恵★、清野凜華★、卓球女子 菅井愛未★
- ▼5位:5年100m 小嶋愛桜(大谷)
- ▼6位:6年100m 早坂優希(大谷)
- ▼8位:5年100m 成原結愛(宮宿)
- 〔高校一般男子の部〕
 - ▼2位:3000m 長岡恵汰(大谷五ノ谷地高)
- 〔高校一般女子の部〕
 - ▼1位:4×100mリレー 谷地高A(若月麻未ほか3名)
 - ▼3位:100m 若月麻未(宿/谷地高)

障がいを持つ人たちの
山形・福島地域間交流会



障がいを持つ人たちの山形・福島地域間交流会



互いに支え合い、学び合う関係をつくり、体や心に障がいを持っていても、楽しみや役割を持ちながら地域でいきいき暮らせる文化を広げるため、6月10日、11日両日で「障がいを持つ人たちの山形・福島地域間交流会」が西部公民館を主会場に開催されました。

山形・福島地域間交流会実行委員会（清野雅英代表）主催。福島県会津若松市と二本松市から支援者を含む約30人が来町し、1日目はお互いの地域の紹介や情報交換、2日目は軽スポーツ体験や絵手紙の作品づくり、手打ちそばの食事会などで交流を深めました。

参加者の1人で、20代の頃からリウマチを患っているという清野貞さん（送橋）は、「以前は障がいを隠しながら、どうして自分だけ…と辛い気持ちになることもあった。でも、周りの人のあたたかい声掛けや誘いもあり、閉じこもるのをやめたら世界が広がった」と、町のコーラスサークルや昔語りの会での活動を発表。また、ハツ沼に伝わる「黄金沼」という昔話を披露し、大きな拍手が送られていました。

- 1. 参加者全員での記念撮影
- 2. 軽スポーツの体験会。スポーツ吹き矢の指導
- 3. 数メートル先のフープにディスクを投げて通すフライングディスク
- 4. 昔話語りを披露する清野さん
- 5. 青空の下グラウンドゴルフを楽しむ参加者

春夏秋冬 編集後記

変化を受け入れる土壌

町で活動する地域おこし協力隊の皆様を特集しました。地域おこし協力隊は名前の通り、地域の方と協力しながらまちおこしをするのが仕事です。ただ、町を泉に例えると個々の力は一つの石のようなもので、起こす波紋も当然小さいもの。周りの皆さんが共に動いてくれるからこそその波は全体に広がり、やがて定着もしていきます。

今回取材した4人の隊員がイキイキと活動できるのも、受け入れ

てくれる地域の皆さんの存在があればこそ感じました。

話は変わりますが暑い日が続いています。体調管理は大変ですが、表紙の流しそうめんのように夏ならではの楽しみも多い朝日町。町民プールは間もなくオープン、朝日川渓流まつりや最上川でのカヌーなど、これからの季節は水辺のイベントやアクティビティが盛り沢山です。暑さに負けずに楽しみながら夏を乗り切っていきましょう。

村山 彩